

青春と老春

—人生を健康で豊かに生きるために—

人生70年、80年の時代から、今や人生90年の時代を迎えつつあります。しかし、長寿人生で大切なことは、できるだけ自立度を保持しながら生きるということであり、さらに大切なことは「健康で豊かに生きる」ということなのです。「健康で豊かに生きる」ことによって、人生の日々は充実し、生甲斐を感得し、幸福に感謝することができるかと私たちは考えます。

本学術公開講座は、健康科学の探求という視座から、「病気になるって、医療を受ける」ではなくて、「健康に生き、しかも豊かに生きる」とはどういう意味であるか、また、青春と(壮春と)老春を通して「健康で豊かな人生」を「生きる」ための秘儀とは何かについて考えていくことを目標として企画いたしました。

五回の講座では、「人間の生理的構造(しくみ)に学ぶ」「先人の生き方に学ぶ」として、それぞれの専門分野から問題提起をしていくことにしています。

気軽にご参加くださいますようお願い致します。

講座プログラム

- ・第1回講座:2015年2月4日(水) 14:00~16:00
「年齢という才能について」
—心理学と生理学から考える—
永瀬 佳孝(森ノ宮医療大学教授)
- ・第2回講座:2015年2月5日(木) 14:00~16:00
「憲法精神の実践—家永三郎の生き方に学ぶ—」
浪本 勝年(日本教育法学会理事)
- ・第3回講座:2015年2月6日(金) 14:00~16:00
「随喜の心を求めて—塩尻公明の生き方に学ぶ—」
中谷 彪(森ノ宮医療大学教授)
- ・第4回講座:2015年2月9日(月) 14:00~16:00
「『哲学する』生き方のすすめ」
—ヤスパースの学的歩みに学ぶ—
榎井 靖之(森ノ宮医療大学准教授)
- ・第5回講座:2015年2月10日(火) 14:00~16:00
「庶民の夢の実現—小林一三の生き方に学ぶ—」
安田 実(森ノ宮医療大学教授)

受講要領

- ・受講希望者は、当日、直接、会場へお越しください(1回だけの受講も可です)。

定員:約50名
受講料:無料

- ・開講場所:森ノ宮医療大学 4階 415教室

〒559-8611 大阪市住之江区南港北 1-26-16 電話:06-6616-6911
<http://www.morinomiya-u.ac.jp>

(地下鉄中央線 コスモスクエア駅 徒歩2分)

- ・受講者には、各回の「修了証」を贈呈いたします。



講師紹介と講座要旨（開講順）

・第1回講座担当：永瀬 佳孝（森ノ宮医療大学教授）、神経生理学

大阪大学歯学部卒(歯科医師)、大阪大学大学院歯学研究科修了、大阪大学博士(歯学)。大阪大学助手、メルボルン大学客員研究員、北海道医療大学歯学部講師を歴任。

* 講座内容要旨：生れつき頭のいい人はいない。脳を構成する神経細胞が 10^{12} の単位で存在するのに対し、遺伝子の数は 10^6 の単位である。神経細胞の配列は遺伝子では決まらない。知識や経験は、脳の中にモジュール化され、その数は年齢とともに増えてくる。本講座では、人間が生まれつき持っている能力と獲得した能力を、知覚の研究の立場から解説する。

・第2回講座担当：浪本 勝年（日本教育法学会・理事）、教育学

東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得、元立正大学教授、教育学修士、『世界が報じた家永教科書裁判』（エイデル研究所、共編）、『教育裁判証言・意見書集』（北樹出版）、『家永三郎生誕100年』（日本評論社、共編）他多数。

* 講座内容要旨：家永三郎（1913-2002）は長年、東京教育大学教授を務めた歴史研究者である。その名が広く一般に知られるようになったのは、文部省が行う教科書検定を1965年に違憲・違法として提訴し、32年の長期にわたり日本国憲法の精神に基づく表現の自由・教育の自由を求めて闘ってきたことによる。この講座では、家永の学問・研究及び日常生活などを通して、その思想と生き方について考えていきたい。

・第3回講座担当：中谷 彪（森ノ宮医療大学教授）、教育学

東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得、大阪教育大学名誉教授・元学長、博士（文学）、『塩尻公明』『塩尻公明と戦没学徒 木村久夫』（以上、大学教育出版）、『1930年代アメリカ教育行政学研究』（晃洋出版）他多数。

* 講座内容要旨：秀才の誉れ高かった塩尻公明（1901~1969）が、天分と愛情の問題に悩み、修行生活を積み重ねた。塩尻がその生涯で求め続けたのは、「随喜の心」であり、愛他的心の豊かな人間に成長することであった。講座では、塩尻の人生を追跡しながら、遂に彼が到達した究極の境地を整理し、彼の人生と思想から私たちが何を学ぶべきか、人生をどう生きるべきか等について考えていきたい。

・第4回講座担当：榊井 靖之（森ノ宮医療大学准教授）、哲学

京都大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得、元京都大学経営管理大学院 京セラ経営哲学寄附講座 助教、博士（経済学・社会思想史）、『ヤスパース—精神医学から哲学へ』（昭和堂）、『経営哲学を展開する』（文眞堂、共著）、他。

* 講座内容要旨：カール・ヤスパース（1883-1969）は「病んだ人間」を見つめ続ける中で医学から哲学へと研究分野を次第に広げていった。その歩み全体は「人間とは何か」を「哲学する」軌跡であったと言えよう。本講座では、彼が「哲学する」中で得た「人間とは何か」への回答を考察し、私たちが「よく生きる」ためのヒントをそこに学びたい。

・第5回講座担当：安田 実（森ノ宮医療大学教授）、経営学

阪急グループ企業勤務を経て、現在、学校法人森ノ宮医療学園専務理事、公益財団法人日本高等教育評価機構・評価員

* 講座内容要旨：小林一三（1873-1957）はその生涯を通して、鉄道、流通、映画など多くの業績を残した事業者として、また、先駆性や多彩さや新たな文化の創成者として知られる。その思想は、全国の私鉄創設期の鉄道経営や百貨店経営にまで広く及んでいる。講座では、今なお通用する彼の先駆的な思想と革新性について、具体例を挙げながら考えていきたい。